

肺癌の術後補助化学療法の効果 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年8月26日～2027年3月31日

〔研究課題〕

TNM分類第8版を用いた非小細胞肺癌に対する術後補助化学療法の多施設共同前向き観察研究

〔研究目的〕 病変全体径2cm以上の非小細胞肺癌かつ肺葉切除術以上完全切除を受けた患者さんを対象とし、術後補助化学療法の治療成績を明らかにすることで、現行肺癌診療ガイドラインの再評価と今後の前向きランダム化比較試験の実行可能性を検証することが目的です。

〔研究意義〕 現在の肺癌診療ガイドラインによると、病変全体径2cm以上の術後病理病期IA/IB/IIA期の患者さんには術後補助化学療法が推奨されていますが、その根拠となっている臨床試験は1985年～1995年に実施されています。当時と比較すると現在は、高分解能CTの普及など診断機器の進歩も著しく、すでに20年以上が経過しており、我々を取り巻く医療環境は激変しているためこの再評価が必要となっています。

〔対象・研究方法〕 2021年12月31日までに当院で原発性肺癌に対する外科切除療法を受けた、あるいはこれから受ける方のうち、以下の条件を満たす患者さんが対象です。

1. 肺葉切除以上の手術、2. 完全切除、3. 病理学的に非小細胞肺癌と診断、4. 病変の大きさが2cm以上
日常診療の情報を症例登録票に記載して事務局でデータ集積を行い、統計学的な解析を行います。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属溝口病院

〔個人情報の取り扱い〕 匿名化を行い、個人が特定できる情報は取り扱いません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部附属溝口病院外科 教授 松谷哲行

住所：〒213-8507 川崎市高津区二子5-1-1

TEL: 044-844-3333